

**TOTO****施工説明書**



小型電気温水器

湯ぽっとキット





RE06S1/RE12SH1

**1 安全上の注意****安全のために必ずお守りください**

取付け工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。この施工説明書では、製品を正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害及び工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、つぎのようになっています。







表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。







下記に示す内容は、施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取付けてください。

表示	意味
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	風呂・シャワーなどの水場では使用しないでください。
	必ず、アース線を接続してください。

取付け工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

 <b>警告</b>	
 <b>禁止</b>	屋内内ですので屋外には設置しないでください。 (故障・感電の原因になります)
 <b>水場での使用禁止</b>	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 (故障・感電の原因になります)
 <b>アース接続</b>	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース工事を行ってください。 また、漏電遮断器を取付けてください。 (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)
 <b>必ず実行</b>	消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。 (火災の原因になります)
 <b>禁止</b>	100V仕様の電気温水器に200Vの電圧をかけないでください。 (ヒータの断線・火災などの原因になります)

 <b>注意</b>	
 <b>禁止</b>	タンクが空の時は、絶対に電源プラグをコンセントに差込まないでください。 (空焚きとなり、故障・やけどの原因になります)
	水道水以外は、通水しないでください。 (井戸水等を通水すると腐食等により漏水するおそれがあります。)
 <b>必ず実行</b>	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。 (空焚きとなり、故障・やけどの原因になります)
	必ず連結管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取付けてください。 (凍結した場合、破損し漏水するおそれがあります)
	必ず湯水が混合できる先止め水栓を取付けてください。 (高温の湯が出てやけどの原因になります)

**おねがい**

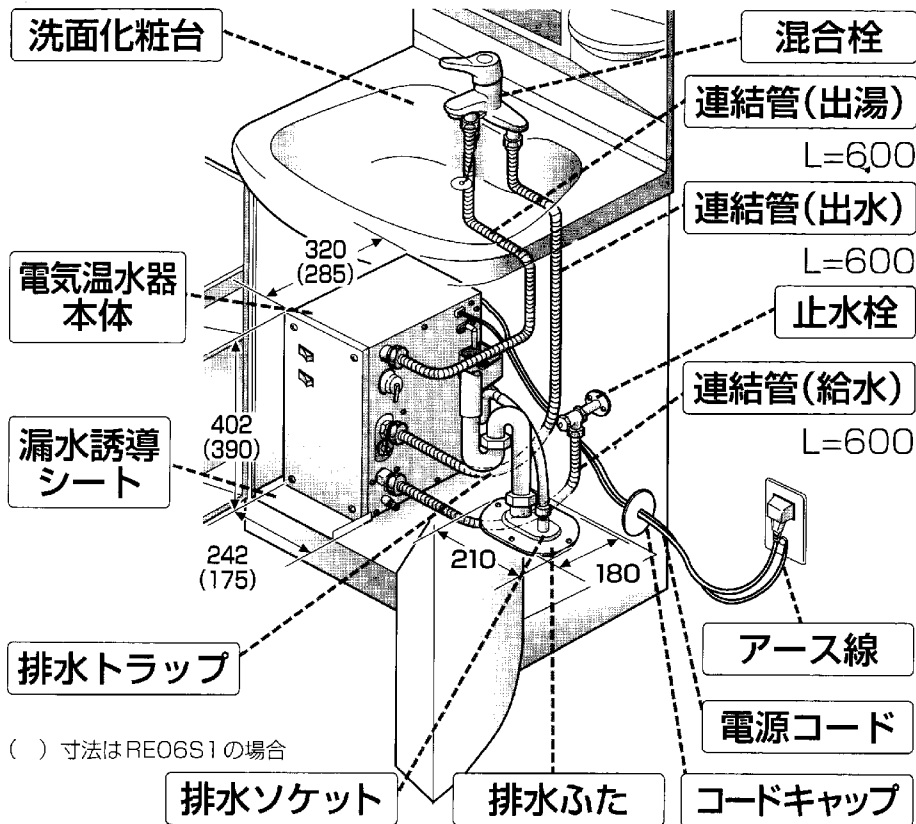
給水圧力は0.05～0.75MPaです。  
この圧力の範囲内でご使用ください。

給水圧力が0.1MPa未満の時は自動水栓を取付けしないでください。

必ずフィルター付アングル形止水栓（必要別売品）を取付けてください。

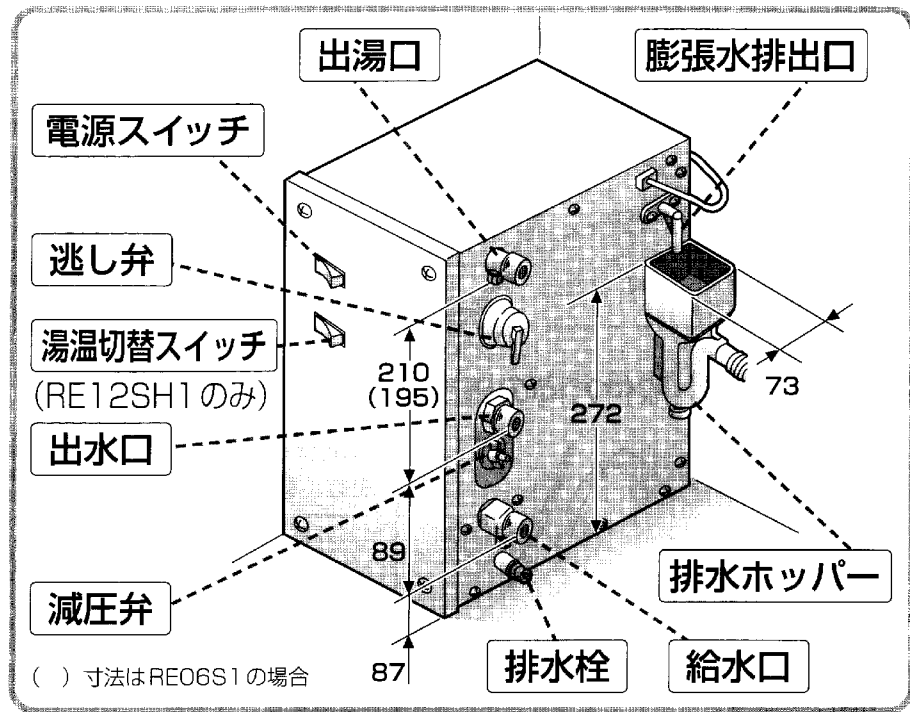
空焚き、施工上の責任は、当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合、貴店の保証規定によって修理していただくよう、お願いいたします。

# 2 各部の名称・寸法

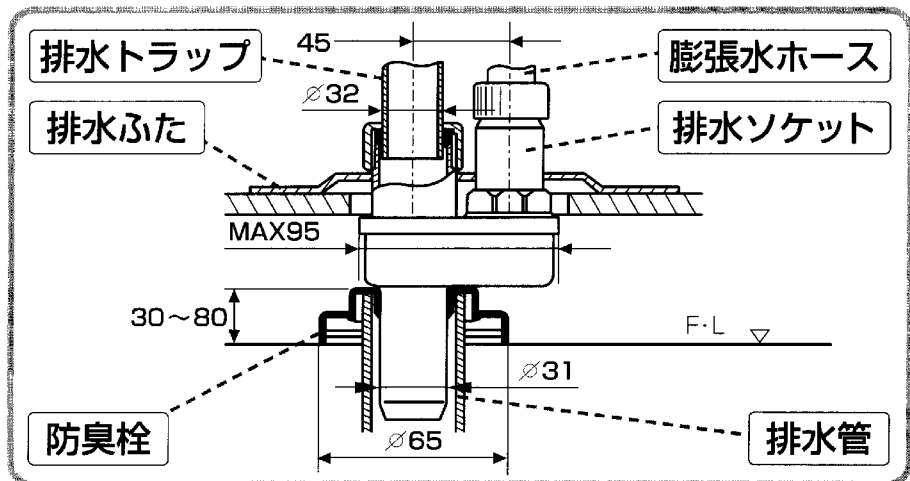


( ) 寸法はRE06S1の場合

		RE06S1	RE12SH1
規格	定格電圧	100V	
	周波数	50/60Hz	
	消費電力	600W	505W
製品寸法	幅175mm×奥行285mm×高さ390mm	幅242mm×奥行320mm×高さ402mm	
製品質量	6kg(満水時約12kg)	8kg(満水時約20kg)	
沸き上がり温度	約85℃	約60℃(約85℃切替可)	
給水方式	先止め式(減圧弁、逃し弁内蔵)		
安全装置	温度過昇防止器(手動復帰式バイメタル)		
使用水圧	0.05~0.75MPa		
使用可能雰囲気温度	0~40℃		

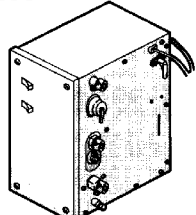

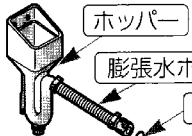
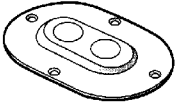


( ) 寸法はRE06S1の場合




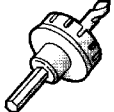
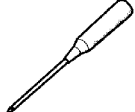

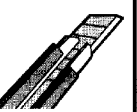

# 3 部品の確認

施工前に必ず部品の個数を確認してください。

<b>①電気温水器本体</b> 	<b>②連結管</b> (袋ナット対辺24mm)  (x6) L = 600mm  (x3)	<b>③ニップル</b>  (x2)
<b>④ばね座金 ⑤φ3タッピンねじ ⑥φ4タッピンねじ</b> (T0°Oオーバルシリーズのみ使用) (注1)		
<b>⑦排水ソケット一式</b> <b>⑧排水トラップ一式</b>  		
<b>⑨排水ホッパー一式</b>  ホッパー (x2) 膨張水ホース タッピンねじ パッキン	<b>⑩水抜き用チューブ</b> L = 300mm 	<b>⑪コードキャップ</b> 
<b>⑫排水ふた</b> 	<b>⑬固定アングル一式</b>  固定アングル (x1) 両面テープ (x2)	
<b>⑭補強金具一式 (注2)</b> 補強金具 φ3タッピンねじ すりわり付き止めねじ 取付説明書	<b>⑮漏水誘導シート一式 (注2)</b> 漏水誘導シート 取付説明書	<b>⑯施工説明書 ⑰取扱説明書</b> (保証書付)

注1：RE12SH1には同梱していません。  
 注2：RE06S1には同梱していません。

# 4 準備する工具

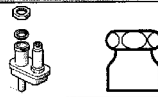
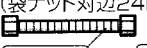
電動ドリル	ホルソー	プラスドライバー	ノコギリ	カッター	スパナ
					 (対辺24mm)

# 5 洗面化粧台取付可否一覧

## 湯ぽっとキットを取付けるための洗面化粧台の条件

- キャビネット内に湯ぽっとキットの設置が可能なスペースがあることを確認していた  
 だき、さらに下記の条件をみたしていることを確認してください。
  - ①洗面化粧台の間口が6Lは600mm以上、12Lは750mm以上。
  - ②湯水が混合可能な水栓。  
 【単水栓の場合は、混合栓(品番:TL307AX)への取替えが必要になります。  
 また、シャンプー水栓は、湯量などの問題で取付けることができません。】
  - ③排水トラップが床排水タイプ。(Sトラップ)
  - ④キャビネットが両開き扉タイプ。
  - ⑤床給水タイプの場合、電気温水器の設置スペースに給水配管がないこと。

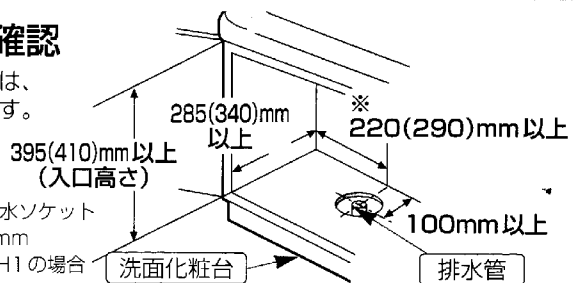
# 6 別売品一覧

品名	品番	希望小売価格	数量	形状	用途
排水ソケット	TH500D1	¥4,400	1		集合住宅用です (一般住宅用にも 使用できます)
連結管 (L=850mm)	RHE140	¥2,500	1	(袋ナット対辺24mm)  フレキ管 (x1)      パッキン (x2)	標準の連結管の長さ (600mm)で足りない 場合に長尺タイプを 用意しています。

# 7 施工前の確認

## 1) 設置スペースの確認

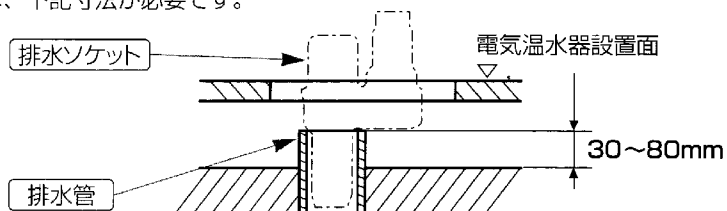
湯ぽっとキットの設置には、下記のスペースが必要です。



※湯ぽっと横幅175mm + 排水ソケット取付に必要なスペース45mm  
※ ( ) 内の寸法はRE12SH1の場合

## 2) 排水管立上げ代及びスペースの確認

排水ソケットを取付けるため、排水管の立上げ代及び電気温水器設置面とのスペースは、下記寸法が必要です。



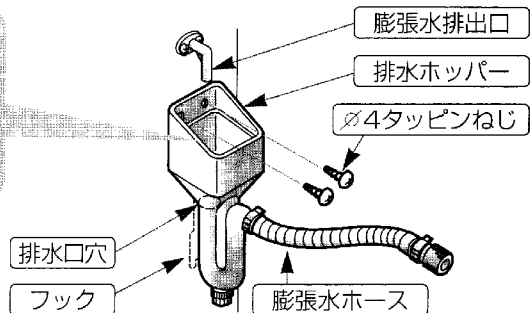
# 8 前作業

1) 施工前に既設の連結管及び排水配管を取外してください。

2) 排水ホッパーを電気温水器本体に取付けてください。

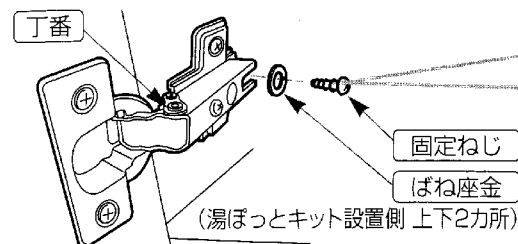
### 注意

排水ホッパーの排水口穴センターが膨張水排出口のセンターに合うように取付けてください。



3) 漏水誘導シートを電気温水器本体に取付けてください。取付方法は付属の説明書を参照してください。

4) TOTO オーバルシリーズに湯ぽっとキットを取付ける場合、緩み防止のため、洗面化粧台扉の丁番に同梱のばね座金を取付けてください。(RE06S1の場合)



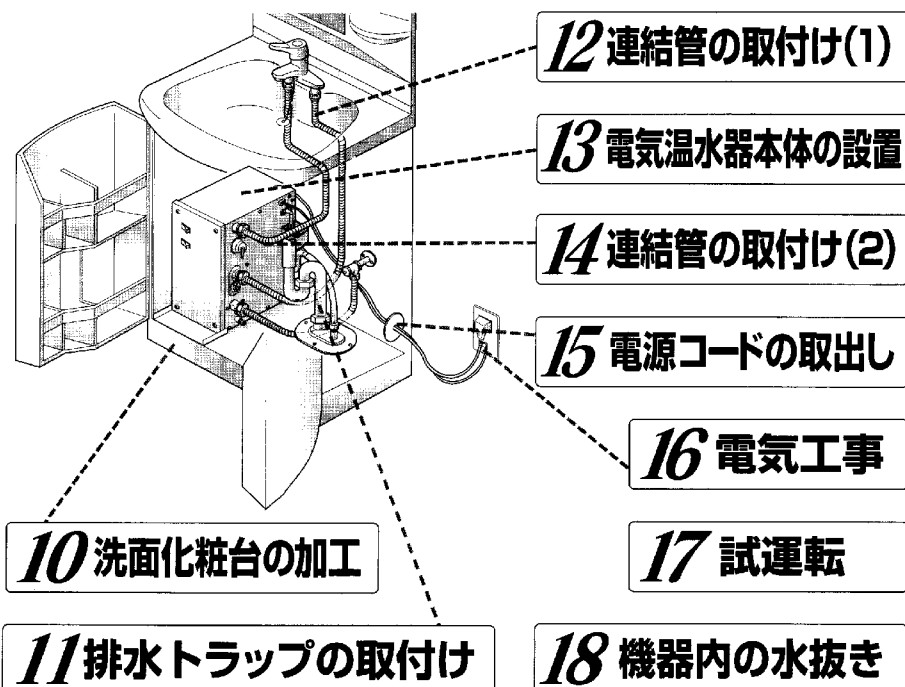
### 《取付け方》

- ① 丁番の固定ねじを外す。
  - ② 同梱のばね座金を取付け固定ねじを締付ける。
- ※洗面化粧台の右側に貼付けてある調整ラベルにしたがい、扉の調整を行ってください。

※RE12SH1はオーバルシリーズに取付けできません。

# 9 施工図

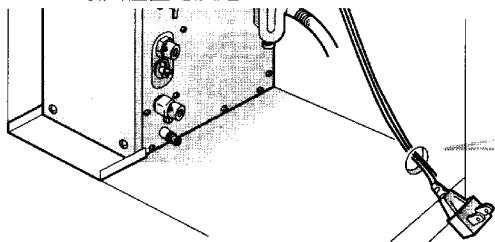
この施工図は、施工例です。湯ぽっとキットの取付けは、洗面化粧台により異なります。



# 10 洗面化粧台の加工

## 1) 電源コード取出位置の確認及び取出穴の加工

電気温水器本体を洗面化粧台に仮置きし、排水ソケットの取付方向及び電源コードの取出位置を決定してください。

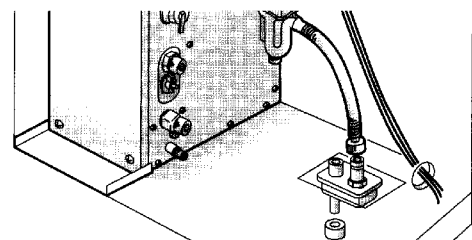


電源コード取出穴は、下記範囲内で開けてください。

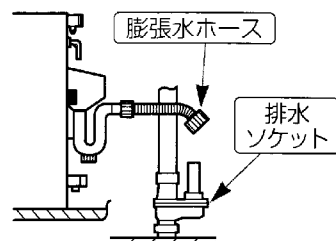
〔穴あけは、ホルソーなどの工具で行ってください。〕

φ30~35

## 2) 排水ソケット取付方向の確認及び取付穴の加工



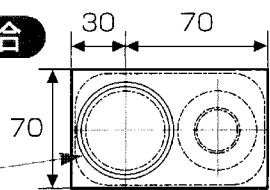
排水ソケットの取付方向を決め、取付穴の加工を行う。



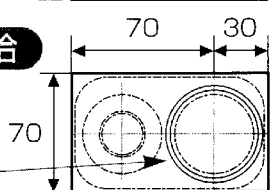
標準の取付方向で膨張水ホースが取付かない場合は、方向を変える。

《取付穴寸法》

標準方向の場合



方向を変えた場合



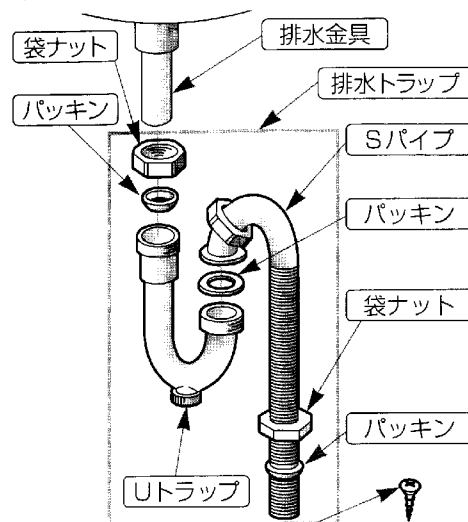
## 3) 補強金具取付穴の加工

付属の説明書を参照し穴加工を行ってください。

# 11 排水トラップの取付け

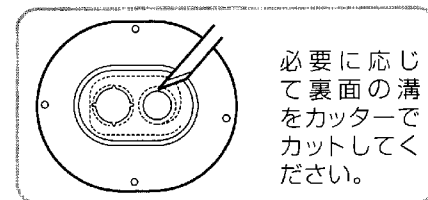
下記の手順で同梱の排水ソケット及び排水トラップを取付けてください。

TOTOの洗面化粧台(オーバルシリーズ以外)に取付ける場合は、既設の排水トラップをそのまま使用してください。



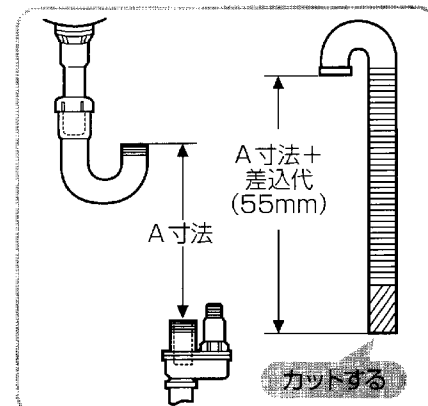
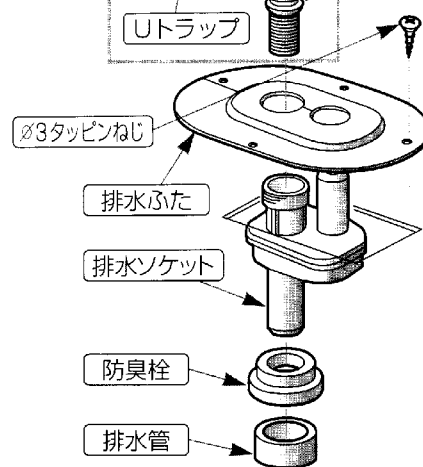
①防臭栓を排水ソケットに取付け、排水管に差込む。

②排水ふたを取付ける。  
(φ3タッピンねじ・4個)



必要に応じて裏面の溝をカッターでカットしてください。

③Uトラップを排水金具に取付け、Uトラップと排水ソケット間の寸法を測定しSパイプをカットする。



④Sパイプに袋ナット・パッキンを入れ、Uトラップ、排水ソケットに取付ける。  
※排水金具が汚れている場合、タオルなどでよくふき取って取付けてください。  
(漏水の原因になります)

排水ふたのねじ固定ができない場合は、市販の両面テープなどで固定してください。

# 12 連結管の取付け(1)

下図の要領で混合栓に連結管を取付けてください。

### 1穴混合栓に接続する場合

1穴混合栓

湯側 水側

湯側 水側

パッキン (混合栓に付属)

ニップル

パッキン

連結管

出湯口へ 出水口へ

### 2穴混合栓に接続する場合

2穴混合栓

湯側 水側

湯側 水側

逆止弁

パッキン

連結管

同梱品

出湯口へ 出水口へ

#### 袋ナット締付専用治具(別売品)

TZ15L 希望小売価格 ¥1,300 (A寸法: 300)

TZ15N 希望小売価格 ¥1,300 (A寸法: 184.5)

25.5

23.5

A

# 13 電温機器本体の設置

電気温水器本体を洗面化粧台に設置し、排水ホッパーの膨張水ホースを排水ソケットに接続してください。

禁止

膨張水ホースは、必ず接続口より下方になるようにしてください。

〔排水ホッパーから膨張水があふれ家屋に被害がおよぶおそれがあります。〕

RE12SH1を設置する場合は、化粧台底板の桟の上に乘せてください。底板の強度が弱い場合は補強金具を取付けてください。取付方法は付属の説明書を参照してください。

\*排水ふたが電気温水器本体と干渉する場合は、排水ふたをカットしてください。

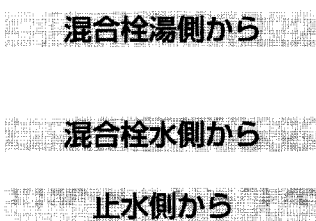
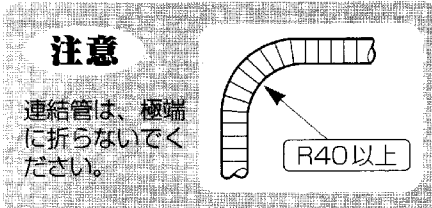
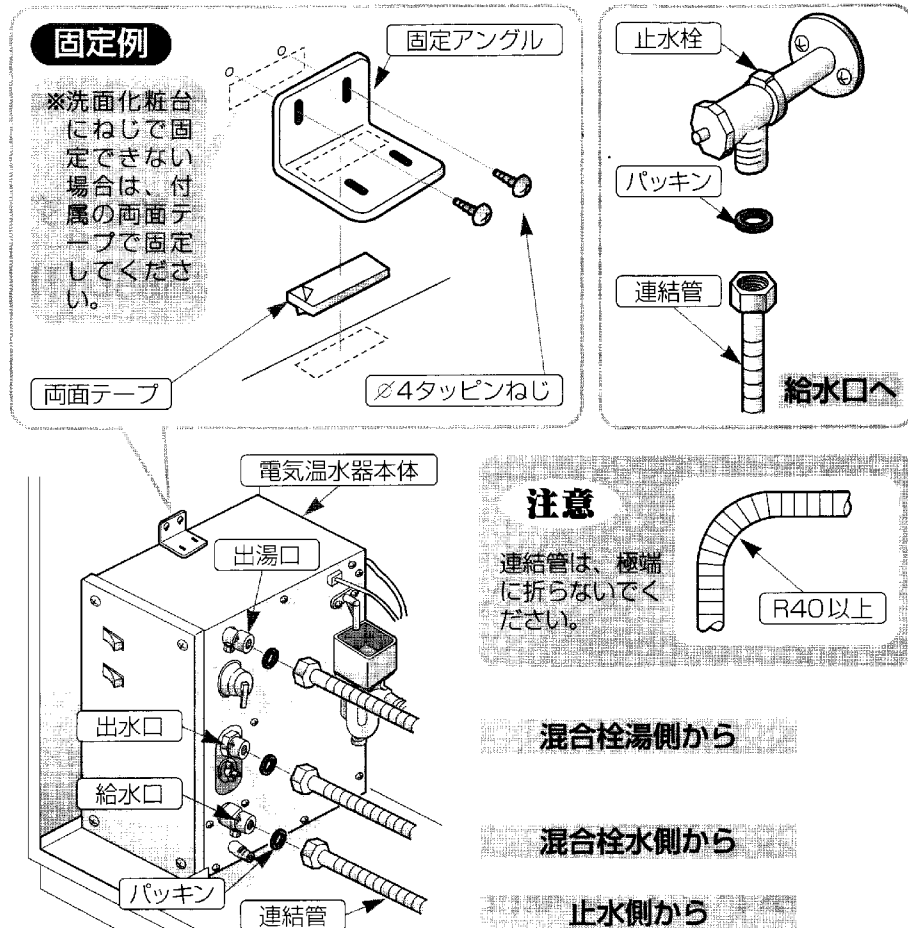
# 14 連結管の取付け(2)

## 重要

給水口に接続する前に必ず、止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨ててください。  
(ゴミなどが機器本体内に入ると故障の原因になります)

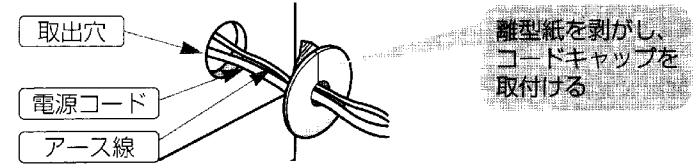
下図の要領で連結管を電気温水器本体及び止水栓に取付け、電気温水器本体を付属の固定アングルで固定してください。

※混合栓に接続した連結管は、あらかじめ曲げておくと取付けが容易に行えます。



# 15 電源コードの取出し

電源コード及びアース線を洗面化粧台の穴から取出し、同梱のコードキャップを取付けてください。



# 16 電気工事

## 警告

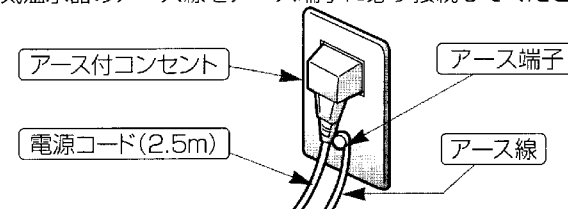
! 必ず実行	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース工事を行ってください。 また、漏電遮断器を取付けてください。 (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります)
	消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。 (火災の原因になります)
⊘ 禁止	100V仕様の電気温水器に200Vの電圧をかけないでください。 (ヒータの断線・火災などの原因になります)

## 1) コンセントの設置

- 電気温水器の消費電力は、RE06S1が600W、RE12SH1が505Wです。容量が足りない場合は、専用のコンセントを設けてください。
- 電気温水器の電源コードの長さは、2.5mです。電源コードの届く範囲内に既設のコンセントがあれば、専用のコンセントを設けてください。

## 2) アース工事

- 電気温水器のアース線をアース端子に必ず接続してください。



# 17 試運転

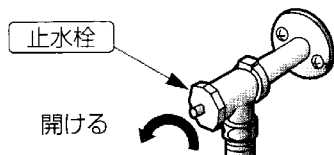


禁止

タンクが空のときは絶対に電源プラグをコンセントに差込まないでください。  
(空焚きとなり故障・やけどの原因になります)

## 1) 電気温水器への給水

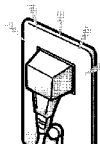
① 止水栓を開ける。



- ② 混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。  
(シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側にする)
- ③ 混合栓から水が出ることを確認し、混合栓を閉める。  
(タンクが満水になると混合栓から水がでます)
- ④ 配管接続部及び排水トラップからの水漏れがないことを確認する。

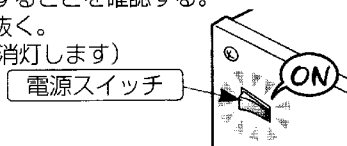
## 2) 電気温水器への通電

① 電源プラグをコンセントに差込む。



**空焚き禁止**

- ② 電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。
- ③ 電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜く。  
(電源スイッチを「切」にするとランプは、消灯します)



● フィルター(ストレーナ)にゴミが詰まると故障の原因となりますので試運転後、フィルター(ストレーナ)の掃除を行ってください。  
(清掃方法は取扱説明書を参照してください。)

※ 減圧弁・逃し弁は消耗部品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。  
(交換のめやす：5年)

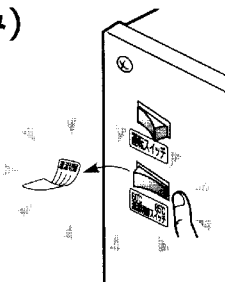
## 3) 沸き上がり温度の変更 (RE12SH1のみ)

### 約60℃設定の場合

初期設定は60℃となっています。湯温切替スイッチに貼付けてあるラベルは剥がさずに、そのままお使いください。

### 約85℃設定の場合

湯温切替スイッチに貼付けてある湯温切替ラベルを剥がして湯温切替スイッチを85℃に切替えてください。



# 18 機器内の水抜き



禁止

水抜きを行う時は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。  
(空焚きとなり故障・やけどの原因になります)

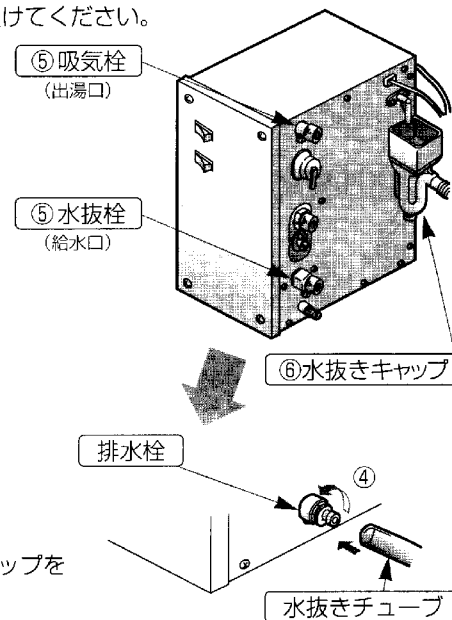
引き渡しまでに凍結のおそれがある場合は、つぎの要領で機器内の水抜きを行ってください。

- ① 電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜く。
- ② 混合栓の水側及び湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切る。  
**注** タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
- ③ 止水栓を閉める。
- ④ 同梱の水抜きチューブを機器本体の排水栓に接続し、排水栓を開け、タンク内の水を抜く。  
**注** 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

- ⑤ 出湯口の吸気栓及び給水口の水抜き栓を開け、連結管内の水を抜く。  
**注** 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

- ⑥ 排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。  
**注** 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

- ⑦ 水抜きが完了したら機器本体の水抜き栓排水栓及び排水ホッパーの水抜きキャップを閉めてください。



## 配管の凍結予防

- 電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材又は、ヒータを巻いてください。